

エコアクション21環境経営レポート

活動期間: 2023年10月～2024年9月(2024年度)

株式会社水上製作所
発行日 : 2025年 5月 9日

目次

環境理念

環境方針

1. 組織の概要

2. 対象範囲

3. 環境目標とその実績（次年度以降の環境目標）

4. 環境経営活動計画の内容と取り組み結果の評価

5. 次年度の取り組み内容

6. 環境関連法規等の遵守確認・評価、違反・訴訟等の有無

7. 代表者による全体の評価と見直しの結果

環境理念

水上製作所は医療機器・衛星通信機器向け精密部品の加工を通して、顧客と社会のニーズを正確に把握し、全員が生産技術力を高め、品質・信頼性と環境保全に積極的に取り組み、良き企業市民としての社会的責任を果たしていきます。

環境方針

当社は、部品製作において「自然と友に」を常に念頭に置き、“地球環境の保全、並びに地域との共存”を企業活動の基本として行動します。

省資源、省エネルギー、廃棄物の最小化、地球温暖化物質の排出削減により、地球環境保全に努めます。

環境パフォーマンス向上の為、環境管理システムを継続的に改善すると共に、汚染の予防に努めます。

法規制、条例、及び同意するその他の要求事項を遵守します。

技術的、経済的な事情を考慮の上、事業活動が環境に与える影響を低減し、更に循環型社会の実現を推進します。

全従業員の参加により以上を実行して環境理念の実現を目指します。

2021年12月1日(改訂)
株式会社水上製作所
代表取締役
水上裕章

1 組織の概要

1) 事業所名及び代表社氏名 1948年 3月 合資会社水上製作所

株式会社水上製作所 2000年 10月 株式会社に変更
代表取締役 水上裕章

2) 所在地

本社工場：東京都新宿区西落合3-3-14

大田工場：東京都大田区大森南4-6-15 テクノFRONT森ヶ崎201,105

3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者氏名：水上裕章

電話 03-3954-1211

FAX 03-3954-6425

4) 事業活動の概要

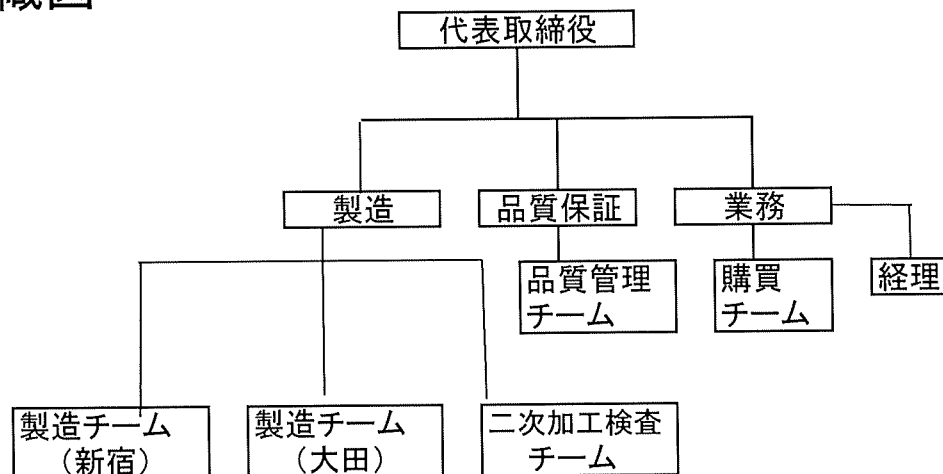
精密部品加工

5) 事業の規模

社員数 39名 男 28名
女 11名

総面積 457.6㎡+475.44㎡

組織図



2 対象範囲

1) 対象範囲

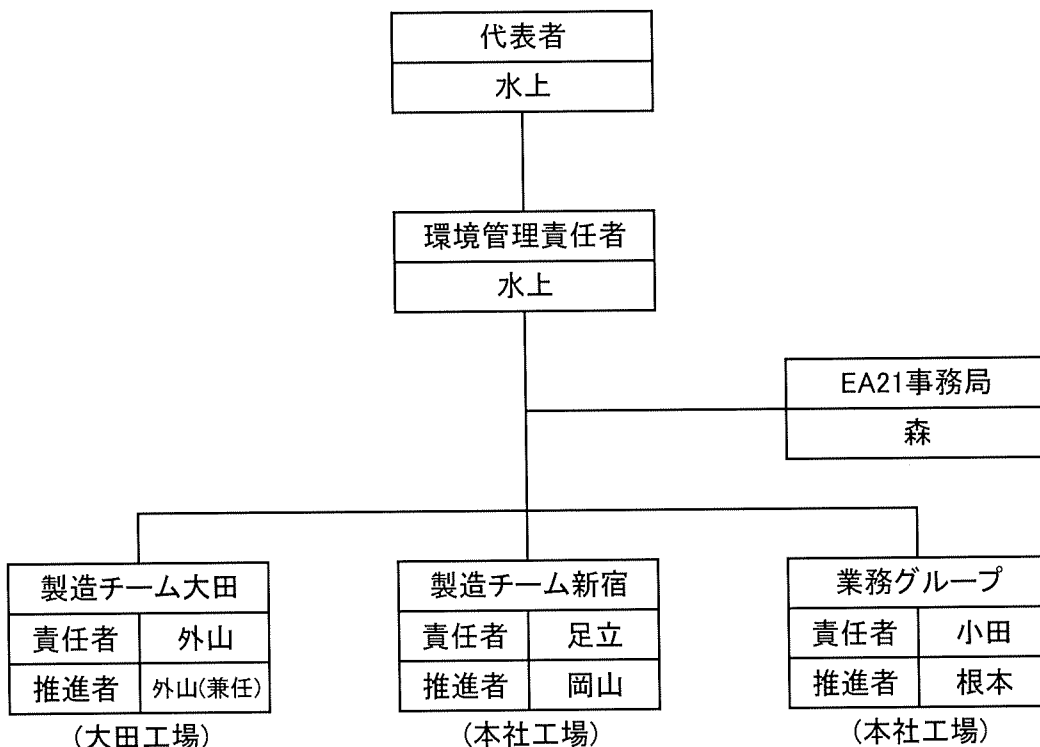
①対象組織： 本社工場・大田工場

②対象活動： 医療機器・衛星放送機器の精密部品加工

(6.実施体制の構築)

別紙

責任者:	水上
作成者:	光武
作成日:	2019/1/18
更新日:	2025/5/8



役割分担

代表者	・環境方針の制定
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境管理責任者の任命
	・資源(人材・物・資金)の用意
	・実施体制の構築
	・全体の取組状況を評価し、必要に応じて見直す
環境管理責任者	・システム運用を統括し、必要に応じてシステムの見直しや指導を行う
	・システムの総括責任者をにない、実績を代表者に報告
EA21事務局	・全体計画の立案
	・文書の作成・管理
	・一般教育の管理
	・システム運営上の事務管理
各グループの責任者	・部門の計画立案
	・作業教育の実施
各グループの推進員	・各グループの実施状況の確認・記録

3 環境目標とその実績

本社工場 1) 環境目標

環境目標	基準		目標	
	2010年度 (通年)	基準人数 18人	2023年度 (通年)	30人
	基準(直近3年平均)		目標	
	21~23年度 (通年平均)		基準人数30 人	
	2024年度 (通年)		34人	
①生産数から見た電力消費量 削減(毎年0.1%)	0.1688kWh 1個あたり		1.3%削減:0.1666kWh 1個あたり	0.1780kWh 1個あたり
②ガソリン消費量 削減(毎年1%)	2369ℓ		13%削減:2061ℓ	1472ℓ
③廃棄物排出量 削減(毎年1%)	265ℓ 1人あたり		13%削減:230ℓ 1人あたり	579ℓ 1人あたり
④水道使用量 削減(毎年2%)	31m ³ 1人あたり		26%削減:22m ³ 1人あたり	8.1m ³ 1人あたり
⑤環境配慮商品 購入	15品目		可能な限り	19品目
⑥環境配慮製品 (不良の低減)	0.007%		目標0.01%	0.663%
				目標0.01%

* 電力の二酸化炭素排出係数は2017年度の東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数0.462を使用しています
基準年度: 270,166kWh/1,851,604個 = 0.1459kWh

2) 実績

	基準(直近3年平均)		2024年度実績	達成区分
	21~23年度 (通年平均)	基準人数 30人	2023年10月~ 2024年 9月 39人	
①生産数から見た電力消費量 削減	0.1778kWh 1個あたり		0.6%増加:0.179kWh 1個あたり	×
②ガソリン消費量 削減	1472ℓ		14%増加:1688ℓ	×
③廃棄物排出量 削減	579ℓ 1人あたり		16%削減:485ℓ 1人あたり	○
④水道使用量 削減	8.1m ³ 1人あたり		21%削減:6.39m ³ 1人あたり	○
⑤環境配慮商品 購入	19品目		19品目	○
⑥環境配慮製品 (不良の低減)	0.663%		0.278%	○ 基準年と比べ

基準年度: 270,166kWh/1,851,604個 = 0.1459kWh
2023年度: 251,285kWh/1,978,791個 = 0.127kWh
2024年度: 273,345kWh/1,527,205個 = 0.179kWh

2024年度

(2023年10月~2024年9月)

二酸化炭素総排出量 126,285.39 (kg-CO2)

3 環境目標とその実績

大田工場

1) 環境目標

環境目標	基準		目標	
	2021年度 (通年)	基準人数 7人	2023年 (通年) 6人	2024年 (通年) 6人
①生産数から見た電力消費量 削減(毎年0.1%)	0.1813kWh 1個あたり		0.2%削減:0.1809kWh 1個あたり	0.1%削減:0.1708kWh 1個あたり
②ガソリン消費量 削減(毎年1%)				
③廃棄物排出量 削減(毎年1%)	450ℓ 1人あたり		2%削減:441ℓ 1人あたり	1%削減:802ℓ 1人あたり
④水道使用量 削減(毎年2%)	3.14m ³ 1人あたり		4%削減:3.01m ³ 1人あたり	2%削減:2.94m ³ 1人あたり
⑤環境配慮商品 購入	15品目		可能な限り	可能な限り
⑥環境配慮製品 (不良の低減)				

* 電力の二酸化炭素排出係数は2017年度の東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数0.462を使用しています

基準年度: 196,651kWh/1,204,955個 = 0.1632kWh

2) 実績

	基準		2024年度実績	達成区分
	2021~23年度 (通年平均)	基準人数 6人	2023年10月~ 2024年 9月 4人	
①生産数から見た電力消費量 削減	0.171kWh 1個あたり		31%削減:0.118kWh 1個あたり	○
②ガソリン消費量 削減				
③廃棄物排出量 削減	810ℓ 1人あたり		33%削減:540ℓ 1人あたり	○
④水道使用量 削減	3m ³ 1人あたり		13%削減:2.6m ³ 1人あたり	○
⑤環境配慮商品 購入	18品目		19品目	○
⑥環境配慮製品 (不良の低減)				

基準年度: 196,651kWh/1,204,955個 = 0.1632kWh

2023年度: 159,853kWh/1,453,486個 = 0.110kWh

2024年度: 157,470kWh/1,332,415個 = 0.118kWh

2024年度

(2023年10月~2024年9月)

二酸化炭素総排出量 72,751.14 (kg-CO2)

次年度以降の環境目標(2025～2027年度分)

本社工場 1)環境目標

環境目標	基準(直近3年平均)	目標		
	21～23年度 基準人数 (通年平均) 29人	2025年度 (通年) 29人	2026年度 (通年) 29人	2027年度 (通年) 29人
①生産数から見た電力消費量 削減(毎年0.1%)	0.1780kWh 1個あたり	基準より 0.2%削減: 0.1776kWh 1個あたり	基準より 0.3%削減: 0.1775kWh 1個あたり	基準より 0.4%削減: 0.1773kWh 1個あたり
②ガソリン消費量 削減(毎年1%)	1472ℓ	基準より2%削減: 1443ℓ	基準より3%削減: 1428ℓ	基準より4%削減: 1413ℓ
③廃棄物排出量 削減(毎年1%)	579ℓ 1人あたり	基準より 2%削減: 567ℓ 1人あたり	基準より 3%削減: 562ℓ 1人あたり	基準より 4%削減: 554ℓ 1人あたり
④水道使用量 削減(毎年2%)	8.10m ³ 1人あたり	基準より 4%削減: 7.73m ³ 1人あたり	基準より 6%削減: 7.61m ³ 1人あたり	基準より 8%削減: 7.45m ³ 1人あたり
⑤環境配慮商品 購入	19品目	可能な限り	可能な限り	可能な限り
⑥環境配慮製品 (不良の削減)	0.663%	目標0.01%	目標0.01%	目標0.01%

大田工場 1)環境目標

環境目標	基準	目標		
	2021～23年度 基準人数 (通年平均) 6人	2025年度 (通年) 6人	2026年度 (通年) 6人	2027年度 (通年) 6人
①生産数から見た電力消費量 削減(毎年0.1%)	0.171kWh 1個あたり	基準より 0.2%削減: 0.1707kWh 1個あたり	基準より 0.3%削減: 0.1705kWh 1個あたり	基準より 0.4%削減: 0.1703kWh 1個あたり
②ガソリン消費量 削減(毎年1%)				
③廃棄物排出量 削減(毎年1%)	810ℓ 1人あたり	基準より 2%削減: 794ℓ 1人あたり	基準より 3%削減: 786ℓ 1人あたり	基準より 4%削減: 777ℓ 1人あたり
④水道使用量 削減(毎年2%)	3m ³ 1人あたり	基準より 4%削減: 2.88m ³ 1人あたり	基準より 6%削減: 2.82m ³ 1人あたり	基準より 8%削減: 2.76m ³ 1人あたり
⑤環境配慮商品 購入	18品目	可能な限り	可能な限り	可能な限り
⑥環境配慮製品 (不良の削減)				

4 環境経営活動計画の内容と取組結果の評価

環境経営活動計画の内容	取組計画	結果	評価
①電力消費量 削減	不要照明の消灯	○	消灯が当り前になった。
	エアコンの温度管理	△	暑さ寒さ対策を実施した。
	必要最低限の機械の稼働	○	稼働率が上がり電気使用量が上昇。
②ガソリン消費量 削減	公共機関の利用	○	公共機関を使っていた。
	まとめ搬出	○	注文数が増えてもまとめ搬出ができていた。
	急発進・急加速を無くす	○	燃費を考えて運転している。
③廃棄物排出量 削減	コピーの裏面使用	○	裏面使用が当り前になった。
	ゴミの分別	△	出来てない人がいた。
	弁当の容器洗浄	○	容器を洗ってリサイクルへ。
④水道使用量 削減	手洗い時の節水	○	出しっぱなしが無くなった。
⑤環境配慮商品 購入	事務用品のグリーン製品購入	○	エコ商品を継続して買っている。
⑥環境配慮製品 (不良の削減)	技術の向上	○	ほぼ実施できた
	機械の精度維持・保守	○	定期的な実施が当り前になった。
	新商品工具の情報収集・確認結果報告	○	業者から情報収集して非常に良い。
	不良原因と対策	△	品質保証との連携が必要。

○:良好 △:不十分 ×:未実施

5 次年度の環境経営活動計画内容

生産量から見た電気は効果的に使用しているため、次年度以降も現在の取り組み内容を維持する。
不良品削減に対しては品質保証と製造と連携して不良削減プランを検討する。

環境経営活動計画の内容	取組計画
①電力消費量 削減	不要照明の消灯 エアコンの温度管理 必要最低限の機械の稼働
②ガソリン消費量 削減	公共機関の利用 まとめ搬出 急発進・急加速を無くす
③廃棄物排出量 削減	コピーの裏面使用 ゴミの分別 弁当の容器洗浄
④水道使用量 削減	手洗い時の節水
⑤環境配慮商品 購入	事務用品のグリーン製品購入
⑥環境配慮製品 (不良の削減)	技術の向上 機械の精度維持・保守 新商品工具の情報収集・確認結果報告 不良原因と対策

6 環境関連法規等の遵守確認・評価、違反・訴訟等の有無

法条例	遵守事項
廃棄物処理法	産業廃棄物での契約、保管基準、マニフェスト管理、マニフェスト交付実績報告
一般廃棄物条例	本社工場)新宿区分別に従い、区回収
	大田工場)テクノFRONT森ヶ崎分別に従い、区回収
フロン排出抑制法	本社工場・大田工場のエアコンの簡易点検 本社工場・大田工場のエアドライヤーの簡易点検

当社に適用される主な環境関連法規と順守状況は不備はありません、また関係当局よりの違反等の指摘・訴訟は過去3年間ありません。

7 代表者による全体の評価と見直し結果

電気使用量責任者 足立/外山 ×/○
生産数量が増えているので、作業時間を短縮し効率のよい加工方法を考えましょう。

ガソリン使用量責任者 盛田 ×
移動回数が増えています、まとめた搬出が来ています。引き続きお願いします。

不良の削減責任者 福田 ○基準年と比べて
不具合数がない月もありますが、協力して不具合数0を目指しましょう。

一般廃棄物排出量責任者 岡山/外山 ○/○
全て燃えるゴミにはせず、分別できる資源を意識しましょう。

水使用料の削減責任者 盛田/盛田 ○/○
節水の意識が付いてきています。水を大切にしている非常に良い状況です。

生産数や人数の増加はありますが、あと少しの意識で、目標を達成できるものがある、電力やガソリン、不良数の課題解決に取り組んでください。